

耐火度測定の改善

耐火度測定の概要



試料コーンの作製



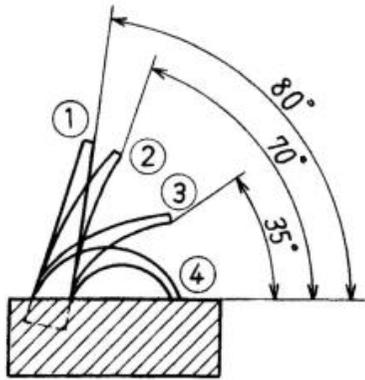
試料コーン及び標準コーンの試験用ルツボの中に設置



装着したルツボを炉内に挿入

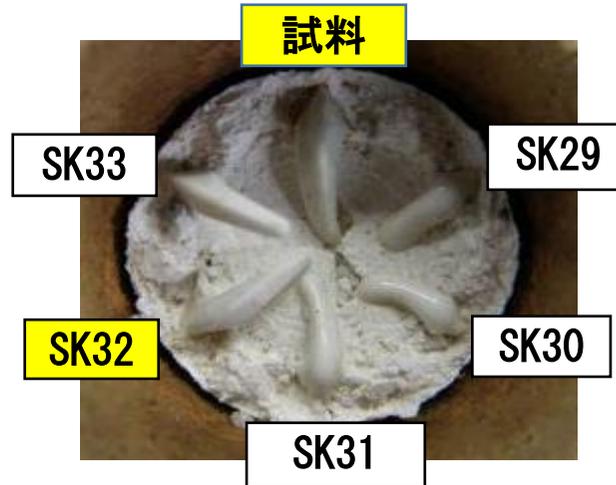


加熱はガス流量を調整しながら実施し、試料コーンが正しく曲がり、その先端が受台に接触するまで実施する



- ① 試験開始前
- ② 溶倒開始
- ③ 中間溶倒
- ④ 溶倒

正しいコーンの曲がり方



耐火度測定結果

既定の三角錐状に成形した試料コーンと、ゼーゲルコーンを 80° に傾けた状態でルツボ内にセットする。

コーンをセットしたルツボを炉内に挿入し、バーナーなどで加熱し、コーンが溶倒する状態を確認しながら、試料コーンが溶倒するまで加熱し、ゼーゲルコーンの曲がり方と比較する。

左の写真では黄色網掛けの試料コーンとSK32が同様の曲がり方をしていることから、この試料の耐火度はSK32と判断できる。